

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
伊佐見	3	改良区中心に地元をまとめている。	R5.3.31
伊佐見	3	干拓 水が行き届かない部分への調整。	R5.3.31
伊佐見	3	耕作放棄地、利便性が悪い。整備必要。	R5.3.31
伊佐見	3	はまゆう大橋周辺は。	R5.3.31
伊佐見	3	木工団地周辺転用多い。	R5.3.31
伊佐見	3	地形や排水の問題、有のところ△	R5.3.31
伊佐見	3	4959、4864(水田と野菜)水はけ悪い(大雨)	R5.3.31
伊佐見	3	気候変動で野菜厳しい。	R5.3.31
伊佐見	3	5023 ハウスの借り手多いが老朽化が課題。	R5.3.31
伊佐見	3	環状線周辺集約されてやりやすい。	R5.3.31
伊佐見	3	4899-5024利便性(平坦地)	R5.3.31
伊佐見	3	湖東病院付近谷間やりにくい。	R5.3.31
伊佐見	3	利用できそうなところを借りて規模拡大・	R5.3.31
伊佐見	3	4880-崖や谷間 山林化している。	R5.3.31
伊佐見	3	4799白地開発の話が過去にあり荒れている。	R5.3.31
伊佐見	3	田を畑にして使用していたところも荒れている。	R5.3.31
伊佐見	3	60haのばせるだけ(100ha)	R5.3.31
伊佐見	3	地区の責任者を置いて希望有なら独立。	R5.3.31
伊佐見	3	100ヶ所以上の圃場。	R5.3.31
伊佐見	3	水が欲しい時期特に9月(年中)	R5.3.31
伊佐見	3	水の濁り(気候変動)	R5.3.31
伊佐見	3	山が間伐されないと土砂が流出する。	R5.3.31
伊佐見	3	水が欲しい時期は一緒。水利組合で融通できると良い。	R5.3.31
伊佐見	3	畑ごとの水はけが悪いと作物がダメになる。高い低いではない。	R5.3.31
伊佐見	3	畑によって水はけの良さがある。	R5.3.31
伊佐見	3	環状線東側は農地転用が進んでいる。	R5.3.31
伊佐見	3	湖東病院より北は耕作放棄地が多い。	R5.3.31
伊佐見	3	はまゆう大橋周辺は担い手の利用権設定。	R5.3.31
伊佐見	3	谷合の場所は今後も厳しそう。	R5.3.31
伊佐見	3	とびあ北営農センター周辺は農地がまとまってきている。	R5.3.31
伊佐見	3	腫が丘団地は住宅のため今後も厳しそう。	R5.3.31
伊佐見	3	1992年宅地が密集してどうか。	R5.3.31
伊佐見	3	大人見の現在の農地利用率が高いのか。耕作放棄地が少ない?	R5.3.31
伊佐見	3	佐浜の内山新田△沖米中は○。	R5.3.31
伊佐見	3	耕作放棄地の解消、優良農地の確保に基盤整備事業は有効手法であるが、地元負担ゼロで行えるよう地権者、担い手の理解と調整が必要。	R5.3.31
伊佐見	3	菊、チンゲン菜 エリアごと作物の集約。	R5.3.31
伊佐見	3	はまゆう大橋(水田)担い手利用権設定。地形の問題	R5.3.31
伊佐見	3	伊佐地川北 谷合で△	R5.3.31
伊佐見	3	佐浜上白地の広がり△	R5.3.31
伊佐見	3	木工団地南○	R5.3.31
伊佐見	3	雨の影響を受けるエリアあり。	R5.3.31
伊佐見	3	荒地→農地に 次世代が土地に関心がない。	R4.3.31
伊佐見	3	借り手、貸し手のコミュニケーションが必要。(仲介があれば?)	R4.3.31
伊佐見	3	集約農地(法人など)	R4.3.31

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
伊佐見	3	草刈りをすれば見えてくる→誰がやるのか、費用は？	R4.3.31
伊佐見	3	耕作放棄地が増えているので、その解消に努める。	R4.3.31
伊佐見	3	新規農業従事者が少ない。営農者の高齢化の対策が必要。	R4.3.31
伊佐見	3	借り手と貸し手のマッチングの場所が必要。	R4.3.31
伊佐見	3	田は機械化が可能なので、拡大ができる。価格が問題。	R4.3.31
伊佐見	3	農地の集積が必要。水田で実施する方向。	R4.3.31
伊佐見	3	不在地主の農地管理が問題。	R4.3.31
伊佐見	3	担い手農業者の耕作地が人数(58人)の割に点在している。	R4.3.31
伊佐見	3	地図だけ見ると担い手農家・農地の集約をしやすい地域だと思う。	R4.3.31
伊佐見	3	特に田は農地がまとまっていて、集約には適しているかと。	R4.3.31
伊佐見	3	耕作放棄地は改善しにくい場所が多く見える。	R4.3.31
伊佐見	3	耕作放棄地は、何故発生しているのか？	R4.3.31
伊佐見	3	担い手不足だとは思いますが、何故担い手になる人が少ないのか？原因を調査して把握しないと打つ手が分からないのではないか。	R4.3.31
伊佐見	3	農業新聞等を読むと、新しい担い手が活躍しているので、意見交換をして対策していかないといけないと思う。	R4.3.31
伊佐見	3	高齢化する前に手を打っていく必要がある。	R4.3.31
伊佐見	3	農地の集約が必要。	R4.3.31
伊佐見	3	マッチングの機会も必要。	R4.3.31
伊佐見	3	価格低迷、人手不足、消費低迷等の悪循環の中、経営維持が難しい状況下の中、拡大方法があるのか。	R4.3.31
伊佐見	3	住宅地付近のトラブル解決方法は？	R4.3.31
伊佐見	3	新規者と高齢化(離農)のミスマッチ。需要と供給。	R4.3.31
伊佐見	3	コミュニケーション	R4.3.31
伊佐見	3	集約化	R4.3.31
伊佐見	3	売り手と買い手、貸し手と借り手の仲介	R4.3.31
伊佐見	3	自作地の今後の利用(売る、貸す、放棄)	R4.3.31
伊佐見	3	認定農業者のうち、畑をやられている方がほとんどだと分かった。	R4.3.31
伊佐見	3	田も畑も担い手の面積が思ったよりも少ないと感じた。	R4.3.31
伊佐見	3	担い手の農地の場所がまばらなため、集約できれば規模拡大が進めやすいのではと感じた。	R4.3.31
伊佐見	3	マッチングの検討(拡大希望と縮小希望)	R4.3.31
伊佐見	3	担い手不足の原因調査	R4.3.31
伊佐見	3	労働力不足。そのくらい？どうしたら？	R4.3.31
伊佐見	3	高齢化。経営継承の意向は？	R4.3.31
伊佐見	3	経営維持が難しい→どうしたらいいか？規模拡大？	R4.3.31
伊佐見	3	拡大したい方と縮小したい方のマッチングが必要。	R4.3.31
伊佐見	3	自作等の比率が高いため、認定農業者の考え方の検討があったらどうか。	R4.3.31
伊佐見	3	施設の状況も調査してみてもどうか。	R4.3.31
伊佐見	3	つながっている畑や田のマップ作成。	R4.3.31
伊佐見	3	担い手の手の届く範囲か。(まばらの意見)	R4.3.31
伊佐見	3	人に貸すことがなくていい。(多い)	R4.3.31
伊佐見	3	条件が悪い場所で作れるものは？	R4.3.31
伊佐見	3	拡大しても維持できるか。	R4.3.31
伊佐見	3	担い手不足+農業従事者の高齢化による作付面積減少	R4.3.31
伊佐見	3	作付をやめた畑は、人に貸すことなくそのままが多い。	R4.3.31
伊佐見	3	土地を売りたいという人も買いたいという人も少ない。	R4.3.31
伊佐見	3	農地の集約がまばらなため、拡大が難しい。	R4.3.31

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
伊佐見	3	担い手が少ない事の原因追及・調査	R4.3.31
伊佐見	3	耕作放棄地の病害虫	R4.3.31
伊佐見	3	不在地主が多い→草が多い	R4.3.31
伊佐見	3	田んぼは特に辞める方や委託される方が増えていると感じています。	R4.3.31
伊佐見	3	高齢化により、畑の管理はしても作付面積は減少	R4.3.31
伊佐見	3	自作地の田畑が多い→今後の希望を聞いていく必要があるでは(辞めたい、貸したい、売りたい、続ける等)	R4.3.31
伊佐見	3	谷地の耕作放棄地の活用を考える必要→これ以上荒らさない	R4.3.31
伊佐見	3	農地集約で効率化していくのは必要だが、一度トラブルになって貸したくない方も多い。	R4.3.31
伊佐見	3	草管理など土地を所有している方が納得できる使い方をしてもらうよう借りる人への注意が必要(どうやってきれいに使ってもらうか)	R4.3.31
伊佐見	3	小規模耕作の方へも配慮してほしい	R4.3.31
伊佐見	3	労働力が不足していると感じている人が4割	R4.3.31
伊佐見	3	田の耕作放棄地の割合が畑と比べると大きい	R4.3.31
伊佐見	3	田の拡大希望者が少ない	R4.3.31
伊佐見	3	担い手不足	R4.3.31
伊佐見	3	住宅地近くのトラブル	R4.3.31
伊佐見	3	土地の貸借の仲介役がいれば	R4.3.31
伊佐見	3	耕作地が人数の割に点在	R4.3.31
伊佐見	3	谷地の耕作放棄地は解消が難しい	R4.3.31
伊佐見	3	担い手の耕作地が分散しているように見える	R4.3.31
伊佐見	3	田の耕作放棄地が多い(畑は需要がある?)	R4.3.31
伊佐見	3	思ったより担い手が少なく感じた	R4.3.31
伊佐見	3	人に貸したくない地主がいる。	R4.3.31
伊佐見	3	委託	R4.3.31
伊佐見	3	住宅地トラブル	R4.3.31
伊佐見	3	集約	R4.3.31
伊佐見	3	拡大・縮小のマッチング	R4.3.31
伊佐見	3	次世代が土地に関心がない	R4.3.31
伊佐見	3	担い手耕作地が点在	R4.3.31
伊佐見	3	なぜ担い手が少ないのかの調査が必要では	R4.3.31
伊佐見	3	畑をやっている人がほとんど	R4.3.31
伊佐見	3	担い手の耕作している面積が少なく、まばら	R4.3.31
伊佐見	3	拡大希望と縮小希望の適切なマッチングが求められる(ミスマッチが現状)	R4.3.31
伊佐見	3	後継者の意向を聞いても良いかも	R4.3.31
伊佐見	3	需要と供給は一致しているか(利益は出るのか、単価は適切か)	R4.3.31
伊佐見	3	継承のメリットを感じていない人もいる。担い手不足	R4.3.31
伊佐見	3	新しく入ってきた法人と既存の農家さんとのやり方の違いによるトラブル	R4.3.31
伊佐見	3	担い手が少ない。減少の原因を調査委すべき	R4.3.31
伊佐見	3	人手不足。高齢化	R4.3.31
伊佐見	3	地域としての土地の活用に取り組んでいく	R4.3.31
伊佐見	3	借りやすい土地(場所・水・設備等)作りを進めていければ	R4.3.31
伊佐見	3	法人の人達がどんどん借りているが、研修生とのコミュニケーションが取れない事もあり、貸し渋りも	R4.3.31
伊佐見	3	集約化してコストを下げなければ、借り手も見つかりにくい	R4.3.31
伊佐見	3	過去のトラブルで貸したくない人も(雑草管理、考え方の相違)	R4.3.31
伊佐見	3	貸借は双方とも細かく気を配らないとトラブルが出てくる	R4.3.31

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
伊佐見	3	放棄地の草を刈るか刈らないかで、借り手の見つけやすさが違う	R4.3.31
伊佐見	3	草刈りをもっとやってもらえるように対策はないか(勧告以外で)	R4.3.31
伊佐見	3	谷地の耕作放棄地は解消が難しい	R4.3.31
伊佐見	3	放棄地の解消も課題だが、荒れる前に対策(貸借等)するのも大事	R4.3.31
伊佐見	3	高齢化になる前に、若い人に対策を周知すべき	R4.3.31
伊佐見	3	農業を多くの人が目を向ける業種にしていきたい(儲かる等、魅力的に)	R4.3.31
伊佐見	3	この地区の担い手の数は多いのか?少ないのか?	R4.3.31
伊佐見	3	農地が点在している場所が散見される	R4.3.31
伊佐見	3	業種により水の面でも効率化でできるのでは	R4.3.31
伊佐見	3	次世代が土地に関心を持っていない	R4.3.31
伊佐見	3	後継者が耕作しやすい様な土地の貸借	R4.3.31
伊佐見	3	赤・緑の場所が、実際より少なく思う	R2.12.21
伊佐見	3	認定農業者の土地が、はっきり確認できない	R2.12.21
伊佐見	3	緑エリア(耕作放棄地)が、とても多いと感じた	R2.12.21
伊佐見	3	担い手の割合が少ない?	R2.12.21
伊佐見	3	田も畑も、今後後継者がいない場所が増えて行く。畑で52ha	R2.12.21
伊佐見	3	条件が悪く耕作放棄地となっているエリアは、問題性が高い(通常だと耕作が難しい)	R2.12.21
伊佐見	3	担い手農家との接点のつかみかたが、分からない	R2.12.21
伊佐見	3	図面と現状の差が大。(不耕作地が多い)	R2.12.21
伊佐見	3	担い手の農地が分散している	R2.12.21
伊佐見	3	農地以外にも多く耕作が難しそうな場所がある	R2.12.21
伊佐見	3	畑→耕作放棄地の12%は、市内で多いのか少ないのか	R2.12.21
伊佐見	3	担い手の割合が少ない	R2.12.21
伊佐見	3	担い手との接点、つかみどころが分からない	R2.12.21
伊佐見	3	耕作放棄地が、実際より少ないと思う	R2.12.21
伊佐見	3	水田の拡大がない	R2.12.21
伊佐見	3	このままではいけないとは思いますが...	R2.12.21
伊佐見	3	担い手が少ないが、今後増えるとは思わない	R2.12.21
伊佐見	3	プレ会議の手法、目的は統一されているのか?	R2.12.21
伊佐見	3	地域の話し合い、集いが少ない問題点	R2.12.21
伊佐見	3	担い手の地図を見ると分散している。市内全体をみても灰色か、多く作りにくい	R2.12.21
伊佐見	3	放棄地12%が多いか分からない(説明つきが欲しい)	R2.12.21
伊佐見	3	水田が心配	R2.12.21
伊佐見	3	担い手が少ないが、今後増えるとは考えにくい	R2.12.21
伊佐見	3	手法(人・農地プラン)が全国統一であるか。→同一でないとも成果がまとまるとは思えない	R2.12.21
伊佐見	3	地元の人以外の担い手が多い。→苦情もある	R2.12.21
伊佐見	3	どの農家がいるか分からない。人が分からない地域の人を集めてやる事ができない	R2.12.21
伊佐見	3	人を集めて話す方法を教えて欲しい。地域の人を知って話をしたい	R2.12.21
伊佐見	3	10年前は、元々荒れている所が多かった。今では、湖東高校近くも、最近荒れてきた	R2.12.21
伊佐見	3	30haは、今後余ってくる	R2.12.21
伊佐見	3	No.4736~4830の湖沿いが荒れている	R2.12.21
伊佐見	3	そもそも行けない所に、畑・田があり使えない	R2.12.21
伊佐見	3	部農会の集まりが少なくなっている。→今では生産者部会が、メインとなっている	R2.12.21
伊佐見	3	新たな担い手、耕作者を見つけないのが難しい	R2.12.21

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
伊佐見	3	使えるハウスを捨ててしまう人がでてしまっている	R2.12.21
伊佐見	3	担い手(借り手)からすると、修繕のコストを考えると、自分で作っている方が良いと考える	R2.12.21
伊佐見	3	地元の知っている人でしか、貸さないという地主が多い(伊佐見等)	R2.12.21
伊佐見	3	地図4831、4799、4767での耕作放棄地を借りたい	R3.1.8
伊佐見	3	2020年春よりカラスの被害が増加している	R3.1.8
伊佐見	3	後継者なし 体力的にない	R3.1.8
伊佐見	3	現在耕作地域がかなり広がっており地域ごとにある程度まとめて増やしていきたい。一枚の面積も2反程度にしていかないと非効率のため耕作地の交換も視野に入れたい。	R3.1.8
伊佐見	3	地域で遊休農地を確認し、周辺の地主の合意の下で農地の集団化のための基盤整備を行い、認定農業者等へ貸し付ける事業に取り組んでいる。本年度は2haの基盤整備を行い貸付ける予定。今後も数カ所の整備、貸付けを検討している。	R3.1.29
伊佐見	3	水田では自作者が減少しているので、自作者を一カ所に集約し、大規模耕作者の農地を集約するとともに大区画化への整備も実施し、効率化促進のための事業も検討している。	R3.1.29